

第10章 「借り物の単語力」から「私の語彙力」へ

これまでの章で、語源や語感について、どのように調べればよいのか、スキ間の時間を使って、どうやって単語力をつけていくのか、具体的なやり方をお話ししてきました。電子辞書や紙の辞書を使って、疑問に思ったことをちょっと調べるだけで、単語力は変わっていきます。

でも、それに加えて、調べたことを記録すると、単語力はさらに「ホンモノ」になっていきます。

記録といっても、おおげさなことではありません。この章では、まずそのやり方を説明したいと思います。

そして、「ホンモノの単語力」とは何か、ということについて、これまでお話ししてきたことを整理していきましょう。

「ホンモノの単語力」の究極の到達点とも言える

- 「私の語彙力」とは何か
- それをどのようにつけていくのか

といった問題についてお話ししていこうと思います。

(1) もしも...

子どもの頃の荷物を整理していて、夏休みの日記が出てくると、その当時のことを思い出します。

あんなこと、こんなことがあったと、とても楽しいですね。

日記をつけるのと同じように、習った単語、覚えた単語を記録できればとても役に立ちます。

もしも、英語を習い始めたときからずっと、自分の単語ノートをつくり続けていたら、今頃はすごいものになっているはずです。

最初のページには簡単な単語、たとえば、afternoonなどが書かれています。

afternoon 名詞 午後

私たちの大事な原則は、「知っている単語」は「知らない単語の入り口」となる、ということでした。

afternoonに関連した新しい単語に出会ったら、それをこのノートの余白に書き込むのです。

afternoon after + noon (正午) = お昼のあと

「afternoonがnoon(正午)のあとの時間である」という単語の組み立てがわかったときにはうれしかったものです。

新しい知識に出会ったら、さらに書き込みます。

in the morning at noon in the afternoon

「午前中(in the morning)」、「午後(in the afternoon)」というのは何時間もある「幅のある時間」ですから、前置詞inを使います。それに対して、at noonは「正午」という時刻なので、時刻につける前置詞atを使います。

I got up **at** six. (私は6時に起きた)

at noonのatは、上の例のatの仲間です。ちなみに、in the